

Cisco IOSソフトウェア DHCP バージョン 6 サーバ サービス拒否の脆弱性

High

アドバイザリーID : cisco-sa-20120926-dhcpv6

[CVE-2012-4623](#)

初公開日 : 2012-09-26 16:00

最終更新日 : 2012-10-18 19:01

バージョン 1.1 : Final

CVSSスコア : [7.1](#)

回避策 : [Yes](#)

Cisco バグ ID : [CSCto57723](#)

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

Cisco IOSソフトウェアによりおよび Cisco IOS XE ソフトウェアは非認証を可能にする可能性があるサービス拒否 (DoS) 状態を引き起こすために脆弱性がリモート攻撃者含まれています。攻撃者は有効になる DHCP バージョン 6 (DHCPv6) サーバ機能を備えているリロードを引き起こす影響を受けたデバイスによりへ巧妙に細工された要求を送信することによってこの脆弱性を不正利用する可能性があります。

シスコはこの脆弱性に対処するソフトウェア アップデートをリリースしました。このアドバイザリーは、次のリンクより確認できます。

<http://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20120926-dhcpv6>

注 : 2012 年 9 月 26 日、Cisco IOSソフトウェア Security Advisory によって組み込まれる書は 9 Cisco Security Advisory が含まれています。アドバイザリーの 8 つは Cisco IOSソフトウェアの脆弱性に対処し、1 つのアドバイザリーは Cisco Unified Communications Manager の脆弱性に対処します。各 Cisco IOSソフトウェア Security Advisory は正しい 2012 年 9 月のすべての Cisco IOSソフトウェア脆弱性はパブリケーションを組み込んだことアドバイザリー、また Cisco IOS ソフトウェア リリースで詳述される脆弱性を解決する Cisco IOS ソフトウェア リリースをリストします。

"Cisco Event Response: 半年ごと Cisco IOSソフトウェア Security Advisory は次のリンクのパブリケーションを」組み込みました:

http://www.cisco.com/web/about/security/intelligence/Cisco_ERP_sep12.html

該当製品

修正済みソフトウェア

有効になる DHCPv6 サーバ 機能と影響を受けた Cisco IOSソフトウェアか Cisco IOS XE ソフトウェアを実行している Ciscoデバイスは脆弱です。DHCPv6 サーバ 機能はデフォルトで有効になりません。DHCPv6 クライアントカリレー エージェントで設定される Ciscoデバイスはこの脆弱性から影響を受けません。

Cisco IOSデバイスまたは Cisco IOS XE デバイスが DHCPv6 サーバで設定されるかどうか判断するために、**提示 IPv6 dhcp interface コマンド**を発行して下さい。

次の例は DHCPv6 サーバで設定されないので脆弱ではない Cisco IOSデバイスを示したものです:
Router#show ipv6 dhcp interface

Router# 次の例はこの脆弱性から影響を受ける Cisco IOSデバイスを示したものです。デバイスは DHCPv6 サーバ 機能が FastEthernet0/0 インターフェイスに加えらるので脆弱です:

```
Router#show ipv6 dhcp interface
FastEthernet0/0 is in server mode
  Using pool: DHCPv6-stateful
  Preference value: 0
  Hint from client: ignored
  Rapid-Commit: disabled
Router#
```

次の例はこの脆弱性から影響を受ける Cisco IOSデバイスを示したものです。デバイスは DHCPv6 サーバ 機能が FastEthernet0/0 および FastEthernet0/1 インターフェイスに加えらるので脆弱です:

```
Router#show ipv6 dhcp interface | include server
FastEthernet0/0 is in server mode
FastEthernet0/1 is in server mode
Router#
```

Cisco 製品で稼働している Cisco IOS ソフトウェア リリースを確認するには、機器にログインし show version コマンドを実行してシステムバナーを表示させます。"Internetwork Operating System Software"、"Cisco IOS Software" あるいはこれらに類似するシステム バナーによってデバイスで Cisco IOS ソフトウェアが稼働していることを確認できます。その後ろにイメージ名が括弧の間に表示され、続いて "Version" と Cisco IOS ソフトウェア リリース名が表示されます。他の Cisco 機器では、show version コマンドがない場合や、表示が異なる場合があります。

次の例は C3900-UNIVERSALK9-M のインストール済みイメージ名前と Cisco IOS ソフトウェア リリース 15.0(1)M1 を実行している Cisco製品を指定したものです:

```
Router> show version
Cisco IOS Software, C3900 Software (C3900-UNIVERSALK9-M), Version 15.0(1)M1, RELEASE SOFTWARE (fc1)
Technical Support: http://www.cisco.com/techsupport
Copyright (c) 1986-2009 by Cisco Systems, Inc.
```

```
Compiled Wed 02-Dec-09 17:17 by prod_rel_teamRouter> show version
Cisco IOS Software, C3900 Software (C3900-UNIVERSALK9-M), Version 15.0(1)M1, RELEASE
SOFTWARE (fc1)
Technical Support: http://www.cisco.com/techsupport
Copyright (c) 1986-2009 by Cisco Systems, Inc.
Compiled Wed 02-Dec-09 17:17 by prod_rel_team
```

Cisco IOS ソフトウェアのリリース命名規則の追加情報は以下のリンクの "White Paper: <http://www.cisco.com/web/about/security/intelligence/ios-ref.html> の Cisco IOS および NX-OS ソフトウェア レファレンスガイド」。

脆弱性を含んでいないことが確認された製品

Cisco IOS XR ソフトウェアはこの脆弱性から影響を受けません。

他のシスコ製品において、このアドバイザリの影響を受けるものは現在確認されていません。

改訂履歴

リビジョン 1.1	2012- October-18	追加最初修正済みリリースとして追加された Cisco IOS 12.2(46)SE1。
リビジョン 1.0	2012- September-26	Initial public release.

利用規約

本アドバイザリは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザリの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザリの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。